

小学校 活用7

3

ともやさんは、 $421 - 298$ や $600 - 201$ のようなくり下がりのあるひき算について、次のように計算しやすい式にして考えました。

【ともやさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{r} 421 - 298 = \square \\ \downarrow +2 \quad \downarrow +2 \\ 423 - 300 = 123 \end{array} \quad \begin{array}{l} \curvearrowright \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $421 - 298$ の答えの \square は、123 です。

$$\begin{array}{r} 600 - 201 = \square \\ \downarrow -1 \quad \downarrow -1 \\ 599 - 200 = 399 \end{array} \quad \begin{array}{l} \curvearrowright \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $600 - 201$ の答えの \square は、399 です。



【ともやさんの計算の仕方】を見ると、ひき算では、ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、差は変わらないのですね。

- (1) 【ともやさんの計算の仕方】をもとに、 $350 - 97$ について、計算しやすいようにひく数の97を100にした式で考えます。

$$\begin{array}{r} 350 - 97 = \square \\ \downarrow \quad \downarrow \\ \text{ア} - 100 = \text{イ} \end{array} \quad \begin{array}{l} \curvearrowright \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $350 - 97$ の答えの \square は、 ウ です。

上のア、イ、ウに入る数を書きましょう。

ゆいなさんは、くり下がりのあるひき算を計算したときにもとにした考えをふり返って、次のようにまとめました。

【ゆいなさんがまとめたこと】

ひき算では、
ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、
ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、
差は変わりません。
このことを使うと、計算しやすいひき算の式で考えることができます。

ことねさんは、 $400 \div 25$ や $90 \div 18$ のようなわり算についても、計算しやすい式にすることができると思い、下のよう考えました。

【ことねさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{r} 400 \div 25 = \square \\ \downarrow \times 4 \quad \downarrow \times 4 \\ 1600 \div 100 = 16 \end{array} \quad \begin{array}{l} \curvearrowright \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $400 \div 25$ の答えの \square は、16 です。

$$\begin{array}{r} 90 \div 18 = \square \\ \downarrow \div 9 \quad \downarrow \div 9 \\ 10 \div 2 = 5 \end{array} \quad \begin{array}{l} \curvearrowright \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $90 \div 18$ の答えの \square は、5 です。

(2) ひき算について書かれた【ゆいさんがまとめたこと】と同じように、わり算についても、【ことねさんの計算の仕方】をもとにまとめると、どのようになりますか。

下の の中に、「わられる数」、「わる数」、「商」の3つの言葉を使って書きましょう。

わり算では、

※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

(3) 【ことねさんの計算の仕方】をもとに、 $600 \div 15$ について考えます。

$$600 \div 15 = \text{■}$$

↓ ① ↓ ②

$$\text{㊦} \div \text{㊧} = \text{㊨}$$

↗ 変わらない

だから、 $600 \div 15$ の答えの は、 です。

上の①にあてはまるものを、下の の中から1つ選び、また、上の②にあてはまるものを、下の の中から1つ選んで、それぞれ書きましょう。

ただし、それぞれ、どれを選んでもかまいません。

- ① $\times 2, \div 3, \div 5$ ② $\times 2, \div 3, \div 5$

さらに、上の㊦、㊧、㊨、㊩に入る数を書きましょう。

(4) ゆいさんは、下の問題について考えています。

問題

リボンを0.6 m買ったときの代金が180円でした。

このリボン1 m分の代金は、いくらですか。

$\frac{180 \text{ 円}}{0.6 \text{ m}}$

1 m分の代金は $180 \div 0.6$ の式で求めることができます。

ゆいさんは、次のように、小数のわり算を整数のわり算にして答えを求めました。

$$\begin{array}{r} 180 \div 0.6 = \text{■} \\ \downarrow \times 10 \quad \downarrow \times 10 \\ 1800 \div 6 = 300 \end{array} \quad \begin{array}{l} \curvearrowright \\ \text{変わらない} \\ \curvearrowleft \end{array}$$

だから、 $180 \div 0.6$ の答えの は、300です。

$1800 \div 6$ は、何 m 分の代金を求めている式といえますか。

下の **あ** から **え** までの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- あ 0.6 m 分の代金
- い 1 m 分の代金
- う 6 m 分の代金
- え 10 m 分の代金

3

(1)	$350 - 97 = \text{■}$	$\text{②} \text{ } - 100 = \text{③} \text{ }$	=	$\text{■} = \text{③} \text{ }$	<p>変わらない</p>
<p>だから、$350 - 97$ の答えの ■ は、③ です。</p>					
(2)	<p>わり算では、</p> <div style="border: 1px dashed black; height: 100px; width: 100%;"></div> <p>このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。</p>				
(3)	$600 \div 15 = \text{■}$	$\text{①} \text{ } \div \text{④} \text{ } = \text{⑤} \text{ }$	=	$\text{①} \text{ } \div \text{④} \text{ } = \text{⑤} \text{ }$	<p>変わらない</p>
<p>だから、$600 \div 15$ の答えの ■ は、⑤ です。</p>					
(4)					

(1)	$350 - 97 = \text{■}$	$353 - 100 = \text{②} \text{ } 253$	=	$\text{■} = \text{②} \text{ } 253$	<p>変わらない</p>
<p>だから、$350 - 97$ の答えの ■ は、$\text{②} \text{ } 253$ です。</p>					
(2)	<p>わり算では、</p> <p>(例) わられる数とわる数に同じ数をかけても、 わられる数とわる数を同じ数でわっても、 商は変わりません。</p> <p>このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。</p>				
(3)	$600 \div 15 = \text{■}$	$\text{①(例)} \times 2 \text{ } \div \text{④(例)} \times 2 \text{ } = \text{⑤(例)} \text{ } 40$	=	$\text{①(例)} \text{ } 1200 \div \text{④(例)} \text{ } 30 = \text{⑤(例)} \text{ } 40$	<p>変わらない</p>
<p>だから、$600 \div 15$ の答えの ■ は、$\text{⑤(例)} \text{ } 40$ です。</p>					
(4)	い				